

○新しい会の発足に向け意見交換

(京都府京田辺市普賢寺地区第4回連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

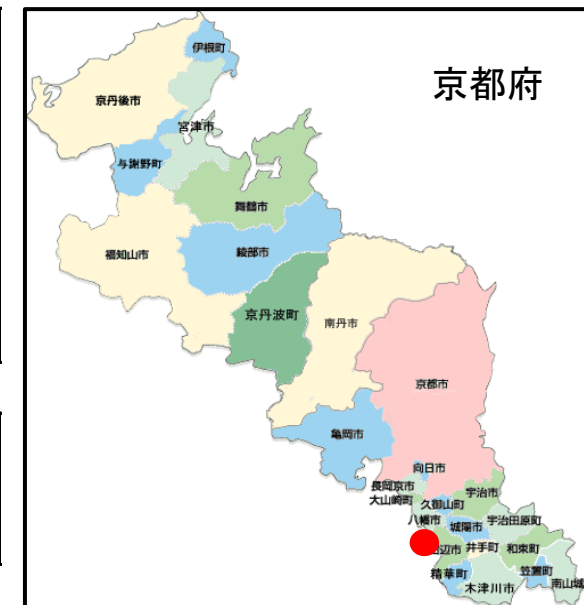
1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年12月19日午後7時～8時30分
- 場 所: 普賢寺ふれあいの駅
- 出席者: 委員6人、委員以外2人
農業会議 多田補佐
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

○京田辺市は関西学研都市に位置し、近鉄、JRが市の中央部を南北に走り、京都市、大阪、奈良への利便性が良く、丘陵地を中心に新興住宅地が開発され、都市化が進み、人口が増加している。

○水稻を中心になす、玉露、てん茶、えびいもなどが栽培されているが、高齢化により生産力が低下してきている。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 普賢寺地区は、市の南西部の中山間地域に位置し、水稻、花き、果樹などが生産されている。
- 普賢寺ふれあいの駅は、地元農産物の直売所と併せて、都市住民との交流の拠点となっている。
- 現在の農を考える会を解散しないと、次に移れないため、地域の課題等について意見交換した。
- 新しい会は、各区と普賢寺地域が連携し、具体的な目的を持ち、動ける組織にする。
- 農地を守るためには、守る農地を明確にし、農業や農地保全に関心のある地域外の人を呼び込みむこと。
- 地域内の若者は、気の合う者でグループをつくり、家庭菜園程度の農地でわいわい楽しく農業ができればよく、認定農業者になりたがらない(そこそこの農業)など課題がだされました。

4 活動結果

- | | | |
|-----------|---|----|
| ○ 情報・意見交換 | 2 | 時間 |
| ○ 担い手への集積 | a | 増加 |
| ○ 遊休農地面積 | a | 解消 |
| ○ 新規就農者 | 人 | 支援 |